

指導と評価の一体化を明確にした授業づくり

1. 指導と評価の計画 ○○中学校 第3学年 12時間 領域 球技 単元(種目) バレーボール

時間	ねらい・学習活動	学習活動における具体的評価規準			
		関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
1 学習時間Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> ○オリエンテーション ・学習のねらいや進め方について理解する。 ・学習するにあたっての約束や安全・マナーについて知る。 ・学習ノートの記入の仕方を理解する。 ○ローテーションとフォーメーションの意義・方法を理解する。 ○チームづくりをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ア⑥課題をもって学習に取り組もうとする。 ◎具体的な課題をもって学習に取り組もうとしている。 			
6 学習時間Ⅱ	<p>ねらい①</p> <p>今もっている技能でゲームを楽しむ</p> <p>ゲームを通して自己やチームの課題をつかむ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○直上の交互パスを上手になろう ○6対6のパスゲーム ○スパイクゲーム ○三段攻撃で相手コートに返球しよう ・方向を変えてパスをしよう。 ・スパイクやブロックができるようになろう。 ・サーブとサーブレシーブができるようになろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ア①準備運動を確実にに行おうとする。 ◎準備運動を進んで号令をかけながら行おうとする。 ア②準備や片づけを自主的にしようとする。 ◎仲間に働きかけるなどして準備や片づけを自主的にしようとする。 ア④自分や他人の安全に配慮し学習しようとする。 ◎場所の安全を確かめ自分や他人の安全に気を配るなどしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> イ①自己に適した課題を選択し学習しようとしている。 ◎自己に適した課題を選択し積極的に学習しようとしている。 イ②ゲームを通して明らかになった自分やチームの課題解決に向けて練習の仕方を工夫している。 ◎ゲームを通して明らかになった自分やチームの課題解決に向けて具体的な練習方法を工夫している。 イ④チームや自分の新たな課題を明確にし、技術向上に向けての新たな練習方法を選んでいる。 ◎チームや自分の新たな課題を明確にし、技術向上に向けての新たな練習方法を具体的に選見つけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ウ②パスやトスが正確にできる。 ◎攻撃につながるようにパスやトスが正確にできる。 ウ①自分の力に合ったサービスを打つことができる。 ◎コースをねらってサービスを打つことができる。 ウ③いろいろなボールをレシーブすることができる。 ◎攻撃につながるようにレシーブが正確にできる。 ウ④タイミングのよいスパイクを打つことができる。 ◎タイミングよくコントロールされたスパイクが打つことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> エ③スポーツを楽しむためのマナーを理解している。 ◎スポーツを楽しむためのマナーを理解し、説明している。
3 学習時間Ⅱ	<p>ねらい②</p> <p>高まった技能でゲームを楽しむ</p> <p>作戦や戦術を生かしたゲーム展開とルール工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○フォーメーションを組み立ててゲームを楽しむ。 ・時間制のラリーを他のチームと行い、自チームの課題を発見する。 ・ゲームの中での自分の役割とポジションを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ア⑤協力して学習しようとする。 ◎仲間に働きかけるなどして積極的に協力して学習しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> イ③学習資料を有効に利用しながらチームの作戦を工夫している。 ◎学習資料を有効に利用しながらチームの作戦を具体的に工夫している。 イ④チームや自分の新たな課題を明確にし、技術向上に向けての新たな練習方法を選んでいる。 ◎チームや自分の新たな課題を明確にし、技術向上に向けての新たな練習方法を具体的に選見つけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ウ⑤ゲームでブロックやブロックフォロのプレーをすることができる。 ◎ゲームで相手に合わせたブロックやブロックフォロのプレーをすることができる。 ウ⑥ゲームの中で三段攻撃につなげるプレーができる。 ◎ゲームの中で三段攻撃につなげるプレーがタイミングよくできる。 	<ul style="list-style-type: none"> エ①ルールを理解しゲームを楽しめる。 ◎ルールを理解しゲームを積極的に楽しめる。 エ②フォーメーションの意義を理解するとともにゲームで自分の役割を理解している。 ◎フォーメーションの意義を説明したりゲームで自分の役割を理解している。 エ④合理的な練習方法やゲームの運営方法、審判の仕方を理解している。 ◎合理的な練習方法やゲームの運営方法の仕方や審判の仕方を理解し説明している。
2 まとめる時間	<ul style="list-style-type: none"> ○まとめのゲーム ・リーグ戦を行い、学習の成果を発表し合う。 ・審判・得点係などの役割を果たす。 ・課題解決に向けた活動ができたか、課題が解決したか等について話し合う。 ・できたこと、できなかったことについてまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ア③チームでの自分の役割を自覚し教え合う中で互いに協力しながら、進んで練習やゲームをしようとする。 ◎チームでの自分の役割を自覚し仲間に働きかけるなど積極的に協力しながら、進んで練習やゲームをしようとする。 		<ul style="list-style-type: none"> ウ⑦チームの特徴を生かした作戦でゲームができる。 ◎チームの特徴を生かした作戦を具体的にたてゲームができる。 	<ul style="list-style-type: none"> エ④合理的な練習方法やゲームの運営方法、審判の仕方を理解している。 ◎合理的な練習方法やゲームの運営方法の仕方や審判の仕方を理解し説明している。
	<p>評価方法等</p> <p>() 内の方法を手がかりに、例えば次のような観察の様子や記述の内容から「おおむね満足できると判断される」状況かどうかを評価する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①準備運動を確実にに行っている等。(観察) ②準備や片づけを自主的にしている等。(観察) ③チームでの自分の役割を自覚し教え合う中で互いに協力しながら、進んで練習やゲームをしている等(観察) ④自分や他人の安全に配慮し学習している等。(観察) ⑤協力して学習している等。(観察) ⑥課題をもって学習に取り組んでいる等。(学習カード) 	<ul style="list-style-type: none"> ①自己に適した課題を選択し学習している等。(学習カード) ②ゲームを通して明らかになった自分やチームの課題解決に向けて練習の仕方を工夫している等。(学習カード) ③学習資料を有効に利用しながらチームの作戦を工夫している等。(学習カード) ④チームや自分の新たな課題を明確にし、技術向上に向けての新たな練習方法を選んでいる等。(学習カード) 	<ul style="list-style-type: none"> ①自分の力に合ったサービスを打っている等。(観察) ②パスやトスが正確にできる等。(観察) ③いろいろなボールをレシーブしている等。(観察) ④タイミングの良いスパイクを打っている等。(観察) ⑤ゲームでブロックやブロックフォロのプレーをしている等。(観察) ⑥ゲームの中で三段攻撃につなげるプレーをしている等。(観察、学習カード) ⑦チームの特徴を生かした作戦でゲームができる等(学習カード) 	<ul style="list-style-type: none"> ①ルールを理解しゲームを楽しんでいる等。(学習カード) ②フォーメーションの意義を理解するとともにゲームで自分の役割を理解している等。(学習カード) ③スポーツを楽しむためのマナーを理解している等。(観察、学習カード) ④合理的な練習方法やゲームの運営方法、審判の仕方を理解している等。(学習カード)

2. 評価規準

	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
内容のまとめ りごとの評価規 準	球技の特性に関心をもち、楽しさや喜びが味わえるように進んで取り組もうとする。また、チームにおける自分の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して練習やゲームをしようとするとともに、勝敗に対して公正な態度をとろうとする。さらに、練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習やゲームをしようとする。	チームの課題や自分の能力に適した課題の解決を目指して、ルールを工夫したり作戦を立てたりして練習の仕方やゲームの仕方を工夫している	選択した球技種目の特性に応じた技能を身に付け、作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。	選択した球技種目の特性や学び方、技術の構造、合理的な練習の仕方を理解するとともに、競技や審判の方法を理解し、知識を身に付けている。
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールや作戦に応じて勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとする。 ・チームにおける自分の役割を自覚して責任を果たしたり、教え合ったりして互いに協力しながら、進んで練習やゲームをしようとする。 ・ルールを守り、審判の判定や指示に従い、勝敗や結果を受け入れようとする。 ・施設・設備の安全や用具の管理をする、危険なプレーをしないで練習やゲームをするなど、健康・安全に留意しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今もっている自分（自分のチーム）や相手（相手チーム）の技能の程度などを的確に把握し、それに応じた作戦を立てている。 ・ゲームを通してチームや自分の課題を明らかにし、その課題の解決の仕方を選んでいる。 ・ゲームの結果から、チームや自分の新たな課題を明らかにし、技能の向上に伴う新たな練習の仕方を選んだり作戦を立てたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今もっている技能を発揮してゲームを行うことができる。 ・チームや自分の能力に適した課題の練習やゲームを通して集団的スキルや個人的スキルを高めることができる。 ・相手チームに対応した作戦でゲームができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・選択した種目の特性や学習の進め方、集団的な技術や個人的な技術の構造、合理的な練習の仕方、練習計画の立て方を知っている。 ・競技の運営やルール、審判の方法を知っている。
学習活動にお ける具体の 評価規準	<p>ア①準備運動を確実に 行おうとする。</p> <p>ア②準備や片付けを自 主的にしようとする。</p> <p>ア③チームでの自分の 役割を自覚し教え合 う中で互いに協力し ながら、進んで練習 やゲームをしよう とする。</p> <p>ア④自分や他人の安 全に配慮し学習し ようとする。</p> <p>ア⑤協力して学習し ようとする。</p> <p>ア⑥課題をもって学 習に取り組もうと する。</p>	<p>イ①自己に適した課 題を選択し学習し ようとしている。</p> <p>イ②ゲームを通して 明らかになった自 分やチームの課題 解決に向けて練習 の仕方を工夫して いる。</p> <p>イ③学習資料を有効 に利用しながらチ ームの作戦を工夫 している。</p> <p>イ④チームや自分の 新たな課題を明確 にし、技術向上に 向けて新たな練習 方法を選んでいる。</p>	<p>ウ①自分の力に合っ たサーブを打つこ とができる。</p> <p>ウ②パスやトスが正 確にできる。</p> <p>ウ③いろいろなボー ルをレシーブする ことができる。</p> <p>ウ④タイミングの良 いスパイクを打つ ことができる。</p> <p>ウ⑤ゲームでブロッ クやブロックフォ ローのプレーをす ることができる。</p> <p>ウ⑥ゲームの中で三 段攻撃につなげる プレーができる。</p> <p>ウ⑦チームの特徴を 生かした作戦でゲ ームができる。</p>	<p>エ①ルールを理解し ゲームを楽しめる。</p> <p>エ②フォーメーション の意義を理解する とともにゲームで 自分の役割を理 解している。</p> <p>エ③スポーツを楽しむ ためのマナーを理 解している。</p> <p>エ④合理的な練習方 法やゲームの運営 方法、審判の仕 方を理解してい る。</p>

保健体育科学習指導案（時案）

3 学年〇〇組 〇〇名

指導者 〇〇 〇〇

1 単元名 球技（バレーボール）

2 単元の目標

- (1) バレーボールの特性を理解し、チームの課題や自己の能力に適した課題をもってその技能を身につけ、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。
- (2) チームにおける自己の役割を自覚してその責任を果たし、互いに協力して練習やゲームができるようにするとともに、勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。また、練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習やゲームができるようにする。
- (3) チームの課題や自己の能力に適した課題の解決を目指して、ルールを工夫したり作戦を立てたりして練習の仕方やゲームの仕方を工夫することができるようにする。

3 指導に当たって

(1) バレーボールの特性

- ・ ネット型の球技であるバレーボールでは、相手にプレイを邪魔されないが、瞬間的にしかボールに接触できないため、ボールの扱い方とともに、ボールに触れない間のポジショニングが大切になる。
- ・ ミスが直接のポイントとなるバレーボールでは、ゴール型の球技と異なり、相手にミスさせることがゲームの中心となる。チームとしての「守りながらの攻撃」を学習することが、ゲームを楽しくする重要な要素となる。
- ・ 「ラリーを続けること」から「ラリーを意図的に中断させること」へと楽しさが発展していく。

(2) 生徒について（省略）

(3) 教師の指導観

- ・ 2年生の段階でパスをつないでのゲームができるようになっている生徒たちであることから、本単元では、ゲームの中で三段攻撃ができるとともに、相手の返球に応じた様々なフォーメーションを組むことができるようにしたい。

4 評価規準（別添）

5 指導と評価の計画（別添）

6 本時の指導

(1) ねらい

- ・ タイミングのよいスパイクを打つことができ、スパイクゲームに生かすことができる。
- ・ ゲームを通して明らかになった自分の課題解決に向け練習の仕方を工夫することができる。

展開（3時間目／12時間中）

段階	学習内容（ねらい）及び学習活動		教師の支援○ 及び評価規準◆ 評価方法
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> ○準備 ○整列・挨拶 ○準備運動 ○本時のねらいと学習内容の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ネットやボールの準備をする。 ・ 準備運動をする。 ・ ボールを使ったボール慣れと、基本的技能の練習 ・ 本時のねらいと学習内容を学習カード等で確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 用具の準備をするときには、安全に気をつけさせる。 ○ 健康観察を行う。 ○ 学習カード等で確認させる。
展開 30分	<ul style="list-style-type: none"> ○スパイク練習 ○スパイクゲーム（1） ○ゲームの振り返り ○スパイクゲーム（2） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ チームごとにスパイクの練習をする。 ・ トスアップからスパイクかパスアタックで始める。 ・ ブロックは跳ばない。 ・ 一定時間に相手コートにボールを落とした回数を競う。 ・ チームごとに試合を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ タイミングのよいスパイクを打つことができる。（ウ4・観察） ○ 生徒同士教え合っている場合は褒める。 ○ トスの上げ方にも気をつけさせる。 ○ ラリーの中でも攻撃的な返球を意識させる。 ○ チームで協力して、互いに教え合い励まし合いながら活動ができるよう助言する。 ○ タイミングの取り方について必要に応じてアドバイスをする。 ◆ ゲームを通して明らかになった自分やチームの課題解決に向けて練習の仕方を工夫している。（イ2・観察、学習カード） ○ 上手くできたことを発表させ、良い点に着眼させる。 ○ 課題解決のために気をつけなければならないことを確認させる。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の反省 ○後片づけ ○整列・挨拶 	<ul style="list-style-type: none"> ・ チームごとに反省内容を学習カードに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○一人ひとりがゲームを楽しめたか、また、お互いに協力してできたかを確認し、次時の課題を見つけさせる。